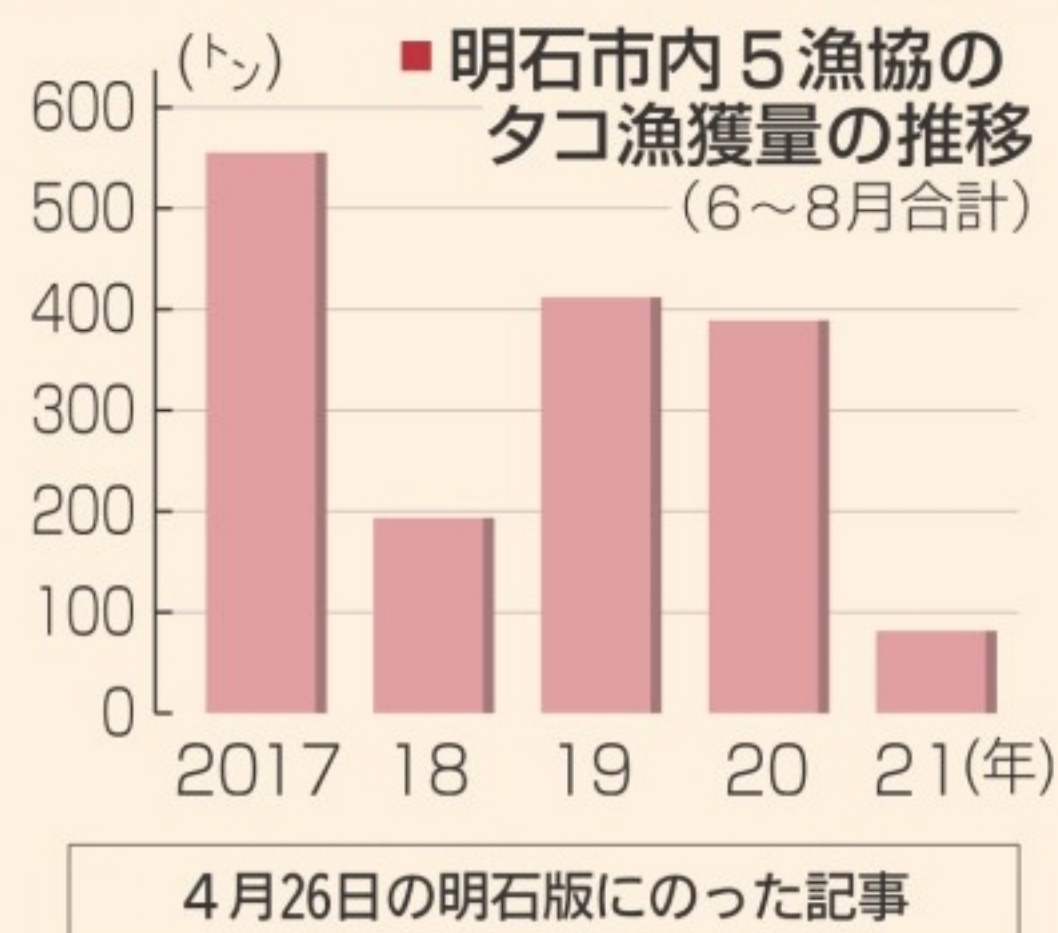


# やってみよう!! ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを作って自宅学習などに活用してもらっています。今回はタコを地域の資源として守るため、そのすみかとなるタコつぼが約3千個、海に沈められたというお話です。

タコつぼを放流する東二見漁協の組合員ら  
＝明石市二見町沖



## 地域の資源守ろう！

### 明石市漁連

歴史的な不漁に見舞われているタコの資源保護を図ろうと、明石市漁業組合連合会（市漁連）が4月25日、すみかとするためのタコつぼを海に沈めた。

タコつぼは通常、タコ漁に使われたものを再利用が穴に入る習性を利用して、明石タコは近年不漁が続いている。特に昨年は、最盛期の6～8月の漁獲量が、2017年の約15%に落ち込むなど、資源保護に求めたりして、資源保護に努力している。市漁連の大西賀雄会長(62)は「なんとかタコを守ろうと、漁師と遊漁船業者が協力したい」と話している。

# 繁殖願いたいタコつぼ海へ

## 3000個、産卵用に再利用

落ち込む史上最悪の不漁となった。タコ釣りがレジャーとして人気になり、釣り上げられるタコが増えたことが不漁の一因との指摘もある。危機感を募らせた市漁連の遊漁船部会と、東二見漁協が協力して実施した。

市漁連などはこれまで、抱卵したタコを放流したり、「栄養塩」と呼ばれる窒素やリンが残った処理水を放流するよう法改正を求めたりして、資源保護に努力している。市漁連の大西賀雄会長(62)は「なんとかタコを守ろうと、漁師と遊漁船業者が協力したい」と話している。

①明石の「タコつぼ漁」の不漁は深刻ですが、漁獲量の推移の表から、どんなことが読み取れますか

②今回、海に沈められたタコつぼは通常、何のために使われますか。また今回の目的は何ですか

③これまで明石市漁業組合連合会などが取り組んだ資源保護対策にはどんな活動がありますか

④不漁の原因はどんなことが考えられていますか

⑤ほかにはどんな原因があると思いますか

答えは15日の「週刊まなびー」にのるよ。



もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて5月14日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

1日 週刊まなびー



- ①走者を一人も許さない完全試合
- ②史上16人目、16度目で28年ぶり。20歳5カ月での達成は史上最年少
- ③13連続奪三振
- ④64年ぶりの新記録
- ⑤自由記述